

単
元
名

～お話を絵で描こう～

読書感想画を描こう

教科書出版社名（ 日本文教出版 ）

○ 小学校（ 全学 ）年 教科等（ 図画工作 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

・読み聞かせを聴いて物語から想像をふくらませ、想像したことを絵で表現することができる。

○ 学校図書館活用のポイント

・どの本について読書感想画を描くかを各学年の担任と相談して決めた。

・読書感想画を描く際には、テーマになった本とは別に、参考になる図書資料を活用した。

○ 学習の展開（全6時間）

第1次	・どんな話かを知る。（担任による読み聞かせ） ・話を聴いて、どんな絵を描くかを考える。
第2次	・読書感想画を描く。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<p>・絵を描く時に、児童から「○○の絵を描くのに、○○が載っている本が見たい」や「△△ってどんなの？ちょっと調べていい？」という声があった。わからないことがあれば調べればよいということが少しずつ身についてきていると感じた。</p> <p>・初めての取組みだったので、うまくいかの心配はあったが、担任から相談等もあったので、連携して取り組むことができた。</p>
② 課題	<p>・読み聞かせを聴いただけでは、物語の内容を理解できていない児童が多かった。</p> <p>→学年によっては、お話の文章だけ印刷したものを児童に配付し、何度も読んで内容を理解できるようにする等の工夫をした。</p>
③ 児童の感想・ふりかえり	<p>・難しかった。本に描いてある絵が見たかった。</p> <p>・絵を描くのは難しかったけど、想像して描くのは楽しかった。</p>

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<p>・学校図書館に関連した授業として、読書感想画の制作を全学年統一で実施した。学校図書館の前にもポスターを掲示し、児童にも事前に読書感想画に取り組むことを知らせた。また、読書感想画に取り組むことが初めての教員もいたので、どのように進めていけばよいか等も周知した。完成した作品の中から、各学級代表を決め、読書感想画コンクールに応募した。</p>
--